

[生活情報]

香りの、新しい用途提案！

食べ物の匂いで、認知症高齢者の食事や水分補給の動機づけ

プロモツール株式会社(東京・文京区)

日本航空株式会社(JAL)が9月20日より国内線及び国際線の各ラウンジに導入する JAL オリジナルアロマの受注に成功したプロモツール株式会社(東京都文京区、社長 井上賢一)は、このたび認知症高齢者の食事や水分補給の動機づけに効果のある香り(匂い)を介護施設向けに発売する。

介護施設にとっては、認知症高齢者にいかにしたらタイムリーに、きちんと食事を摂らせることができるか、そして、いかにしたら十分な水分を摂って貰えるかが大きな悩みの種であるが、プロモツール(株)が開発した食事や飲み物の匂いは、認知症高齢者に食事や水分をより積極的に摂取してもらうことを可能にし、食事や水分を充分取らないことで体力が落ち、病気になって施設から病院へと退所してしまうリスクを軽減する。

この「食事や水分補給の動機づけ」用に開発された香り(匂い)は、認知症高齢者がかって日頃食べていたなじみ深い食事の匂いを人工的に再現し、朝、昼、夕の食事のタイミングに合わせて施設内で流し、「食べたい!」「飲みたい!」という人間の根源的な本能を呼び覚まして、きちんと食事を摂らせ、認知症高齢者の体力の更なる減衰を防ぐことを目的としている。

今回、プロモツール(株)が発売する食事と水分補給の動機づけ用の香りの一例は以下の通り:

- ・朝食の動機づけ: 味噌汁、パン、コーヒー等の匂い
- ・昼食の動機づけ: ラーメン、カレー等の匂い
- ・夕食の動機づけ: 肉じゃが、ハンバーグ、焼き肉、焼き魚等の匂い
- ・おやつの動機づけ: クッキー、果物等の匂い
- ・水分補給の動機づけ: 緑茶、ほうじ茶、コーヒー、紅茶等の匂い

プロモツール(株)は、嗅覚と脳の関係に着目、匂いが認知症高齢者の食事や水分補給の動機づけに使えることを、東北福祉大学傘下の 社会福祉法人「せんだんの杜」の研究“認知症の人の生活環境におけるニオイの役割とケア効果の検討”に協力して実証試験を行っており、この食事や水分補給の動機づけに使える香りはその実験成果であり、今月 18 日より東京ビッグサイトで開催される「国際福祉機器展、HCR2013」にも出展する。

詳細は

国際福祉機器展 HP 内の当社紹介 http://www.hcr.or.jp/cgi-local/seihin_syosai.cgi?seihincd=1617&kunicd=0&kigyoud=3195

PROMOTOOL ホームページ <http://www.promotool.jp>

【添付資料】別紙① プロモツール(株)会社概要

【お問合せ先】 プロモツール(株) 広報担当 井上 電話 03-5940-6637